



あがの市民病院 スワンだより

田中皮膚科医院 院長 田中 正明 先生

15年の病院勤務の後、平成18年4月に医師3人で新潟市と阿賀野市の2箇所診察にあたるという当時は珍しい体制で開業しました。人的にゆとりがあるため長期休暇や学会参加が比較的容易で充実していたと思います。平成28年理事長のセミリタイアにより現在の一人体制となり、水曜日を休診にしています。幸い水曜日は病院で大学医師による皮膚科外来があるので助かっています。木曜午後は往診時間にして、阿賀野市内の在宅患者宅や介護施設に伺っており、病院の訪問看護にも助けられています。3年前からの新型コロナ感染の流行により、密室で施術する脱毛、美白などの美容レーザーは休んでいます。受診抑制もあり、経営的には痛いところです。

ワクチンの集団接種への協力もやや負担になっており、早期のパンデミック終息が望めます。最近の皮膚科診察の変化としては、アトピー性皮膚炎の治療で当院での使用は制限がありますが、生物学的製剤などの全身療法が、外用療法でコントロールできない患者に使われ始めて効果を上げています。諸外国に比べて遅れていたニキビ治療でも面皰治療薬が使えるようになり、ようやく世界の標準治療が可能になりました。最近では腋窩多汗症と酒皰(赤ら顔)の治療薬が保険適応になっています。まだ一般に認知されていないと思いますが、悩んでいる人は多いとされ、気になるようでしたら相談にきて下さい。



あがの市民病院 介護老人保健施設 五頭の里 尾崎 進 施設長

五頭の里で利用できるサービスのお知らせ

①入所サービス

要介護1以上の認定を受けた方で、病院などで治療を受け在宅生活をできるように、医師、看護、介護、リハビリ職員がチームを作り、お世話をするサービスです。しかし、実際には認知症が重症、家族、親族が近くにいないなど、いろいろな理由で入所が長期化しているのが実情です。

②デイケア(通所リハビリテーション)

自宅で療養している、要支援1から要介護5までの認定を受けた方を対象として、リハビリ、入浴サービスなどを行います。送迎のサービスも含まれます。

③ショートステイ

介護をしている方が病気になったり、その他の理由により一時的に介護困難になった時や、介護者が疲れて休息(息抜き)が必要になった場合に利用できるサービスです。

老健では入所者が休日、夜間に急変したときは市民病院のお世話になっております。



特集! 糖尿病を知ろう! 糖尿病教室に参加しよう!



糖尿病・生活習慣病センター医師の北川めぐみです。
11月14日は世界糖尿病デーです。

糖尿病は最近の病気と思われがちですが、なんと紀元前からある古い病気です。源頼朝、織田信長、夏目漱石も糖尿病だったといわれています。そんな糖尿病について質問をいただきましたので回答いたします。



Q1 糖尿病ってどんな病気ですか?

血糖値を下げるホルモンである『インスリン』の作用不足により高血糖が慢性的に続く病気です。高血糖状態が継続すると、動脈硬化が進み神経障害・網膜症・腎症といった三大合併症が出現します。また、糖尿病を持つ方は糖尿病がない方と比べて脳梗塞・心筋梗塞になりやすいと言われています。

Q2 どのような自覚症状があったら受診すればいいですか?

のどが渇く、1日の飲水量が明らかに多い、夜間トイレに行くことが増えた、体重が減ってきた・・・このような症状がある場合糖尿病が隠れていることがあります。しかし、このような症状は自覚しづらく、「なんだか最近疲れやすくなったなあ」や「食べているのに体重が減っているな、ラッキー」と病気に結びつかないまま過ごされることが多いと思います。



撮影時のみマスクを外しています

Q3 健康診断で血糖値が高いと指摘されましたが、特に不調がありません。おかしいなと思ってからの受診でいいですか?

糖尿病の前段階、いわゆる『境界型糖尿病』の時点で心筋梗塞や脳卒中の発症リスクはすでに上昇しています。糖尿病の自覚症状が出た時には動脈硬化が進んでしまっていることもあります。また、早く治療を開始すればするほど、合併症は起こりにくくなります。不調が出てからではなく健康診断で指摘された時点で受診していただきたいです。また、健康診断は早期発見のための重要なツールです。

Q4 糖尿病教室があると聞きました。現在治療中ではないですが、参加できますか?

もちろん参加できます! この記事を読んで少しでも糖尿病に興味をわいてきたという方はぜひ参加してください。医師・薬剤師・栄養士・看護師・理学療法士・検査技師が糖尿病とその治療法についてお話いたします。**参加費は無料です** 病院受付(TEL: 62-2900 14:30~16:30)にお問い合わせください。

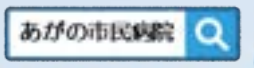
Q5 受診方法を教えてください。

予約制となっておりますが、8:00~11:30の間であれば予約外受診も可能です。ただし外来は非常に混雑しておりますので、おいでいただいても病状によっては別日に予約を取得していただくこともあります。



あがの市民病院

〒959-2093
新潟県阿賀野市岡山町13-23 代表 ☎0250(62)2780
Eメールアドレス syomu@aganocity-hp.com
ホームページアドレス <http://www.city.agano.niigata.jp>





職場紹介 健康管理センター

あがの市民病院、健康管理センターは、病院に併設した1階専用フロアにあり、病気の早期発見・予防をすることを目的に、「人間ドック」「健康診断」を行っております。

医師2名、保健師1名、看護師2名、事務職員5名はじめ、診療科の検査技師、放射線技師、視能訓練士など、各科と協力・連携し、幅広い検査を実施しております。

健康管理センターでは予約制をとっており、午前の人間ドックが10枠、生活習慣病健診が10枠。午後は定期健診・特定健診が10枠で予約をお取りしています。胃の検査では胃カメラ枠を増やし経鼻カメラも取り入れています。

人間ドックでは当日の結果説明を実施し、脳MRI検査、CT検査、腫瘍マーカー、他多数のオプション検査も実施しています。また、阿賀野市民の方には、まちづくりポイント3,000ポイントを付与しております

各検査は最新医療機器を用い、専門技師が検査し、各科の専門医が判定し、必要があれば、各診療科と連携し精密検査も実施し、予防から治療に至るまで一貫した健診体制の構築に努めています。

現在の健康状態の把握と将来の生活習慣病予防、健康寿命の延伸のためにも、年に一度の定期的な健診をおすすめ致します。

皆様が 安心・安全に受診して頂けますよう日々努めております。
どうぞお気軽に健康管理センターをご活用下さい。



院長のつぶやき

院長室

糖尿病・生活習慣病センターでは、11月に重点的に糖尿病に関する啓発活動に取り組んでくれました。健康管理センターでは、新型コロナワクチン接種、インフルエンザワクチン接種に尽力して下さっています。骨・関節疾患センターでは、高齢化社会に対応して、骨粗鬆症・骨折・関節症等に対して、薬物・手術・

リハビリテーションなどで連日大忙しです。学会発表して下さった方々もいます。老健施設は、花火鑑賞会など楽しみ会を開いて下さっています。それぞれの部署で、頑張っておられ、職員に感謝しています。



NIC健康セミナー

10月29日に阿賀野市の水原公民館で開催された「みんなの医療・介護 NIC健康セミナー」に当院の藤森勝也病院長、骨関節疾患センター長 藤井俊英先生が講演されました。

藤森病院長
みんなで考えよう地域医療の和
～あがの市民病院が実践する地域包括医療・ケアとは～



骨関節疾患センター長 藤井俊英先生
中高齢者の膝の痛みについて
～膝の痛みと付き合っていくために～



当日は定員を超過する程の盛況ぶり、地域医療の現状や変形性膝関節症の治療方法が紹介されました。講演内容を熱心に聞き、時折メモを取るなど参加者の関心度の高さが伺える貴重な機会となりました。

「第62回全国国保地域医療学会」に参加して

地域連携支援部 遠藤 明日香



2022年9月16,17日に千葉県木更津市の「かずさアカデミアホール」で行われた「第62回全国国保地域医療学会」に参加してきました。学会のメインテーマである「コロナ・自然災害時代のニューノーマルを見据えたこれからの地域医療構想、地域包括医療・ケアの展望」について、地震・台風・豪雨災害、Covid-19ならびに人材育成などの講演、口述・ポスターと合わせて約200題の研究発表がありました。

この度、私は、外来師長として取り組んだ業務改善・人材育成に関する活動内容について発表してきました。発熱外来の開設により外来部門スタッフのマンパワー不足が生じ、スタッフ全員で、この状況を打破するため取り組んできた活動を評価していただきました。

発表の中には、発熱外来や面会制限下における在宅看取りに関する取り組みも多数ありました。コロナ禍における面会制限のため在宅看取りを希望する患者様・家族様は、当院でも増加しておりますが、未だ課題は多いです。発表を見て、課題に対応するためには、外来部門、訪問看護・介護部門ならびに入院部門とのさらなる連携強化が必要と感じました。

今後は、地域連携支援部として、患者様・家族様が望まれた生活を最期まで続けることができるように、多職種間の連携に取り組んでまいります。



筆者(左)

五頭の星 秋まつり～花火観覧会～



花火を観る機会がなかった入所者様に「花火を観せたい」と長岡花火のDVDを大スクリーンに映し迫力ある映像と音の中で、チョコレートを食べながら楽しみました。

嬉しそうな笑顔、じっと観ている方、涙を流している方もおり、感動していただけたようでした。観覧後は水原銘菓蒸しよせ、プリン、ジュースを食べ美味いといくさんの笑顔でした。いつもは施設内で行う行事でしたが、あがの市民病院の講堂を借りて行いコロナ禍で面会も外出もできない状況の中、お出かけした気分になり、心弾みストレス解消になったと思います。～花火観覧会～大成功でした。